

◆その他の良かった点・改善点（一般参加者、市職員、他自治体職員対象）

【First Action Box(市職員・他自治体職員のみ)】

- 資料と説明だけでは、実際に行わなければいけないときのイメージがつきづらかったです。
First action ボックスだけの講習がまた別であればいいなと思いました。
- 現実的には難しいかもしれないが、話を聞くだけでなく実際にやってみたかった。
- 避難所に到着した際、実際にどのように行動すればよいのか、言葉だけではイメージしにくかったのですが、お話を伺う中で具体的なイメージを持つことができ、とても参考になりました。
- First Action Box は、何の箱か名称だけではわかりづらいので、可能であれば日本語のわかりやすい名前に変えた方がいいと思いました。
- First Action Box について、各避難所に対応した手順書を10のステップに分け作成し、混乱の中であっても避難所開設が行えるよう備えられている点。
特にラミネート加工を施しホワイトボードマーカーで記入できるようにすることで、誰がいつ手順を完了したかを随時確認できるようにされており、情報の共有効果が高いと感じた。
- First Action Box について、誰でもカードを見ながら避難所開設ができ後から合流した人も進捗状況が把握できるため非常に効果があると感じた。こちらについても本市での導入を検討していきたい。
- First Action Box で特に避難所レイアウトの作成は大きい課題、（避難所レイアウトを作成しないと他の項目にしても考えることが難しい）
スモールスタートで主要な施設、レイアウト作成が容易にできるところから始めようと思います。
- First Action Box の研修については、内容もスライドを使用した説明も分かりやすく、また停電想定のお会の雰囲気もあり、参加者も集中して聴かれていた印象を受けました。
- 最初、避難所に来た人達が設営までに何をすべきかの項目がまとめられていた。各避難所数分必要なので労力はかかるが、データとして残しておけば誰でも使えるようになるし、知識として積み重なると思う。

【オリエンテーション】

- ホームページ等にも記載はありましたが、最初の説明で全員の意思統一ができていた。
- トイレは説明を聞いてスムーズに利用できました。
- 参加者へのオリエンテーションはとても判りやすく感心しました。

【給水】

- 翌日の朝に実施したかもしれませんが、給水訓練は、その水を使用してお茶やコーヒーを沸かしたり、キッチンカーに水を使ったりしてもいいのかなと思いました。
- ホースが短いのか、入れる容器を手を持った状態で注ぐのが難しそうに見えました。
下に台など用意して、あまり溢すことの無いようにした方が良いのかもしれません。

【給電】

- 回転率の問題。また食事を受け取った後、給電車のサービスをうける余裕がなくてスルーしてしまう人が多い印象を受けた。
- 給電車の担当をさせていただいた。最初はトヨペットの人と2人体制で回していたが、交代予定の方を呼びに行かれた間の20分ほどの時間が人手不足で、最大8～10人ほどの待ち列ができてしまった。人手不足を訴える際にも周りに他のスタッフがおらず、苦悩した。トランシーバーの用意などがあればよかったのではと考えている。

【災救マップ訓練(市職員のみ)】

- リアルタイムで状況を確認できる点がとても便利だと感じました。

【ペット】

- 避難所生活を体感することができ、また、同行避難動物の避難所における反応の一例を実際に観察することができたため、今後の啓発活動の一助となる有益な情報や課題認識を得ることができました。
- 動物同士が互いの存在をどの程度意識し、日常生活の様子と比較してどのような反応(変化)を示すか観察することで、避難場所における配慮事項の洗い出しが可能になると考えられるためです。
- 今回の宿泊訓練に参加し、非常に貴重な経験をさせていただきました。
全体を通して運営体制の丁寧さや関係者の皆さんの尽力に感謝しつつ、その中で今後に向けた改善点も感じました。

① 情報伝達の断絶について

ペット同伴者は武道館、一般避難者は体育館と分かれていましたが、隣接しているにもかかわらず、体育館で何が行われているのか全く分かりませんでした。避難時にこのような情報の断絶が起きると、混乱や不安を招きかねません。特に災害時には、情報を得られない人が「情報弱者」となってしまう構造が課題だと感じました。

② 「同行」ではなく「同伴」避難の必要性

宿泊訓練を体験したなかで、「同行避難」では安心できないと痛感しました。飼い主とペットを離してしまうことで、どちらにとっても大きなストレスとなります。避難所運営においては、同伴避難を前提とした環境整備が必要です。

③ ペット連れ避難者の少なさ

今回、ペット連れの避難者は私と愛犬のみでした。

一般の日帰り・宿泊参加者の中でもペットを飼っている方は多いと考えます。

その方々がなぜ「ペットを連れて宿泊訓練に参加しない」と選択したのかが気になります。

ペットと共に避難できる仕組みが十分に浸透していない現状を踏まえると、周知と訓練の機会をさらに広げていく必要があると感じます。

以上の点を踏まえ、今後も実践的な訓練を重ねながら、「人にもペットにも安心な避難所運営」が進むことを期待しています。

【その他(掲示板の活用)】

- 掲示板って、結局付け足されていないと思ったのだけれどだろうか？
- 掲示板を活用されていなかったなので、想定の情報提供をもっと行っても良かったと思います。(日付、避難者数、水道が復旧したこと、朝の体操何時から、など)
- 情報掲示板の活用について、落とし物・探し物の情報に加えて、断水や停電の情報の更新(断水中、復旧など)が必要と感じた。
- 住民さんはしっかり見ていたかもしれないが、自分は配置図と落とし物で掲示板を見たぐらいでした。

【その他(トイレ・ごみ)】

- 特に排泄やゴミの処理が重要だと感じました。
- 実際に携帯トイレはあるか使い方がわかってよかった。
- 特にトイレは考えさせられることが多かったです。
- やはり避難所はトイレ問題解決が食料品よりも優先しての課題の一つかと思います。安心感が違う。
- ゴミステーションの場所がわからなかったです。分別しやすいように広い場所に設置してもらえるといいなと思いました。
- ゴミステーションの場所が分かりにくかった。
- トイレの混雑を考えるとすぐ使いたい簡易トイレは持参すべきだと思いました。
- その他として、簡易トイレの体験はとても良かったです。お手洗いの不便さが、誰にでも共通の課題だと思いました。使用した参加者から「全然臭いがないですね」など、体験して初めてわかる感想がありました。
- 実際に設営やトイレ体験をすることができたので。
- 避難所によって物理的な差異はあると思いますが、できればお手洗いは「体調の悪い人」用と分けた方がいいと思います。当日はトイレ番だったのですが、冷え込みで屋外担当の学生さんがお腹の調子が悪くなったようで、長い時間出てこなかったことがありました。たまたま救護室の前だったので保健師職員と一緒に声かけができましたが、感染症であった場合の拡大リスクを想定し、お手洗いは分けるほうがいいのかもと思いました。
- トイレの使い方が良くわかった。男子トイレが大便で小便をするので飛び散って不衛生だった。(衛生管理 の不十分)
生駒市民なのに分別が不十分

【その他(全体)】

- 実際に避難をしてみて流れが分かり良い経験となりました。
- 子どもたちが、我先にとお手伝いに走る姿が印象的でした。
災害時も、子どもサポート隊という感じで、子どもたちにも出来る作業を積極的に振っていくのも良いと思いました。
- 避難所開設時の具体的な運用を体験できたのが良かったです。
- 今回の避難宿泊訓練ですが非常に参考になりました。いざ自分がその立場になってどんな事がで

きるのかをよく考えることができた。

- 実際に体験してみてわかったことが多かったです。
- とても良かったです。でも実際の災害時はこんなものではない。子どもにできることはやってねとか。老人でも元気な方は出来ること沢山あります。
- 初めての宿泊訓練、参考になりました。
今回は停電・断水を想定、避難所で最も課題の一つとなるトイレ問題に関心をもったの参加でした。
LINE を活用した受付処理も関心がありました。
これまで自治会でも考えて行っていますが一步検討を進める必要性を痛感しました。
地域としては、トイレ以外はペット避難、車避難対策が大きな課題と考えています。
また、平日の日中の担い手も課題です。
- たくさん方、特に子供さん、家族での参加が多く(凄いこと)、それぞれの訓練の目的など説明されており、参加者が理解しながら訓練が行われていたのが印象的でした。
- 今回は途中で水道が復旧したり、トイレの電気は付いていたり大変助かったが、本来はこんな事ありえないと思うので、実際に即した訓練をして方がよいとも思った。(取っ掛かりとしては、今回の訓練はとても良かった)
- 災害時の避難は今まで経験したことがなかったので、実際にどのような感じなのか体験できてとても良かったと思います。
- 至れり尽くせりの体験でしたので快適に過ごせましたが、実際に災害があった時に市民がどう動くか、自分が何をできるかを考えさせられました。
- 貴重な体験をありがとうございました。
基本、自宅待機すると思うので支援物資配布などの情報が拡散する仕組みを作ってもらえると助かります。
- 初めてのことで戸惑うこともあったが、大変有意義で勉強になった。同時に問題も浮き彫りになり、今後の課題として取り組んでいこうと思えた。
- 事前に準備して下さった訓練でも、資材の不足を感じましたので、実際に被災した時の各自の備えがとても大事だと感じました。
- 避難所に宿泊をしてみるという、とても良い体験をさせていただきました。夜に水道等が復旧したり、炊き出しがあったり、トイレの電気がついていたり、パーテーションが全世帯にあったり、1泊だったりと実際に被災した時よりはかなり楽な体験ですが、やはりしんどかったのも、持ち出し品や備蓄を再度見直そうと思いました。
- スタッフの方々ありがとうございました。訓練中、初めて会った人であれ互いに助け合うという気持ちが稀薄であるのがよくわかりました。今後の課題です。
今回はスタッフの方が沢山おられたが災害が起これば地域や避難民が分担しなければならないので体験できてよかった。
- とても面白かったです。
小学生の子どもと一緒に安心して楽しんで訓練を受けることが出来、大変有意義な 1 日になりました。
準備に関わってくださった沢山の皆様に感謝しています。本当にお疲れ様でした。ありがとうございます

いました。

- とても良い経験になりました。

とてもいい経験で学ぶことがたくさんあり、良かったと思います。子連れでしたので、時間の過ごし方も工夫が必要だと思いました。

- 今回は、市として万全の避難所開設をと検討されていることがよくわかりました

参加者も意識の高い方で皆さん積極的参加の姿勢で 模範的すぎる避難所だったと思います

- 家族で体験できたことが 1 番参加してよかったことです。親もですが子供も学びが多かったです。日頃からの意識や協力することの大切さをしれました。

- 長く勤めているつもりでしたが、選んだプログラム(LINE を用いた～、炊き出し訓練、応急危険度判定講座)は知らない内容でした。理解も進み、良かったと思います。

- 体験した訓練すべてわかりやすく、実際に体験できてよかったです。

- 本当にお疲れ様でした。非常に勉強になりました。

学生時代の避難訓練では、避難場所まで避難するところまでしか体験できませんでしたが、今回は実際に避難した後の状況を体験できたことがとても良かったです。

- 準備から実践、片付けまで、本当に大変だったと思います。まずは危機管理課の職員皆さんに労いとお礼をお伝えしたいです。お疲れさまでした。

外国人対応の担当で参加しましたが、対象者が来られなかったので一般的な対応となりましたが、それでも参加した意義があったと思いました。

言葉だけでなく、身体の不自由や乳幼児連れ、ペット同伴など、いろんな人が集まる避難所で、あらかじめ自分の役割を把握し、備えておくことの必要性をあらためて感じました。

- いろいろな発見等もありましたし、いい経験ができたと思います。

貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

比較的気候の良い時期での訓練でしたが、それでも、就寝時の気温の低下には参りました。実際に災害が、夏季又は冬季に発生したら、ゾッとします。しかし、今回の宿泊訓練に参加することにより、幾分かの心構えができたとともに、実際の災害の過酷さを少しだけですが、垣間見ることができた気がします。

- お泊りコースで訓練に参加して良かったです。テレビで避難している人のニュースを見ると、環境が想像できて心苦しくなります。以前より自分事に捉えられるようになりました。

避難所を体験できたことで、被災した際に初めて避難所を運営するより余裕をもって周囲にアンテナを張って動けると思います。

訓練は入念に準備ができるので、実際の避難はもっと物資や環境が整っていないだろうと思いました。

- 実際に災害が起こればこの通りにはいかないけれど、このような訓練は必要だし、経験しておくのとしていないのとは大きな差が生まれる。

関係者のみなさま、お疲れさまでした。

- 長時間の訓練の中でパーテーションや段ボールベットの設営、炊き出しなど初めての経験がたくさんできてよかった。実際に災害が起こった時に避難所の運営に関わるにはまず色々なことを知っておくということが重要だなと改めて感じた。

- 貴重な体験が出来て良かったです。ありがとうございました。日帰りコースの短い時間でも避難所で過ごすことにストレスを感じました。長時間滞在することになると、精神的・肉体的な負担がかなりかかると感じました。
- 危機管理課の方々の準備のおかげで大きな問題やケガもなく訓練が終わったと思います。私自身もとても貴重な経験ができました。ありがとうございました。
- 全体を通して、意義のある訓練であったと思う。実際に避難所開設となった際は、市民がどれだけ中心となってできるかにかかっているように感じた。
- 初の試みとのことでしたが、我々自治体職員に対する手厚すぎる対応に恐縮するくらいお気遣いいただきありがとうございました。
- 避難所に実際に泊まるという訓練自体県下で初との事であったが、それを参加者として体験できたことは非常に良かったです。
- 子どもも行政の職員も飽きさせないイベントが組み込まれており大変良かった。
- 本市においても今後同様の訓練において取り組んでいく中で、大変参考になりました。
- 実際に即した状況下で避難を体験することができたことは、住民や自治体職員にとって大変有意義でした。

様々な訓練項目や、伺えた準備工程など、非常に参考になり、今後当市でも活用できればと思います。

大規模訓練にも関わらず、通して円滑に実施し終えたことは、住民の理解と協力はもとより、参加協力団体や職員の方々、何より危機管理課の皆様の長期に渡るご準備や適切な管理運営の賜物と存じます。

貴重な機会に参加させていただき、誠にありがとうございました。

- 11 月初旬の開催ということで、日々日没が早まり気温が下がっていく中、停電・断水想定のもと避難所設営・宿泊訓練と、貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。今回の訓練を通して、DX 化による入退所管理や、First Action Box のような避難所運営の効率化を図るとともに、避難者自身も、備蓄品や防災バッグ等を備えておく事が必要であり、行政として日頃から自助・共助の重要性を周知する必要を感じました。この経験を、今後の防災業務に活かしていきたいと思っています。

- 市民参画型の避難所運営・宿泊訓練が初めての経験だったので、避難所開設・運営の実際のイメージが湧きやすくなった。

また市職員の方がかなり自発的に動かれていたのも印象的であった。

避難所の資機材についての説明も受けることができ(蓄電池など)、今後の備蓄計画の参考となった。

市長が『うまくいくことより、課題を集約する方が大事』とおっしゃられていたのがすごく印象的で、トップからそのような方針を示してもらおうと危機管理課としては非常にやりやすくなるのではと感じた。

次回あった際も是非参加したいと思う。

ありがとうございました。

- 今回の訓練お疲れ様でした。また貴重な機会を設けていただきありがとうございました。プログラ

ムの内容をはじめ、スタッフさんの動きなど、危機管理課の職員の皆様に相当考えられたんだろうと感心いたしました。

- Q10 の質問(資機材は十分と感じたか)について、訓練の目的、要領から見た場合は、十分という判断です。

訓練全般として、本市にとって大変参考となる訓練でした。企画段階から、各種団体や市役所各部署への調整など、危機管理課の皆様の準備の大変さが、市長様の積極的な訓練への携わり、市役所各部署の連携協力、市民の防災意識向上に繋がっていることが理解できました。

今後の生駒市民の皆様の備蓄への教示や自主的な避難所の開設・運営へと繋がる訓練と感じました。

危機管理課の皆様の努力に深く敬意を表します。大変、お疲れさまでした。

- 貴重な体験ありがとうございました。

半袖シャツ長袖服の2枚でいきましたが、思ったより寒くなかったです。

パーテーションの中は意外とあったかく、トイレ行く時にパーテーションから出たらひんやりしました

いつもは枕使っているのですが、頭高くしないと寝れなかったです。(人それぞれなので気づきがあったよかった)

- 真夏の避難時に、どれほど暑さをしのげるのだろうか？と想像してしまいます。
- 当訓練に際しかなり準備を要したと思いますが、初めて当訓練を見た人間からすると大変手の込んだ良い訓練だと思いました。お疲れ様でした。
- 限られた予算の中で、不足している物資の調達を進めるも保管場所が無い問題等、各自治体様からの意見交換や情報共有することができました。
大変色々参考にさせていただく事が多くあり、更にご質問する機会があるかと思いますが、今後も引き続きご対応の程、よろしくお願いします。
- 訓練を通じ、これまで関わりを持つ機会に恵まれなかった自治体と繋がることができ、非常に有意義でした。市町村の危機管理部局の理解と協力が無いことにはペット防災対応の進展は無いため、今回の縁を契機とし、市町村と連携したペット防災に取り組むたいと考えています。
- かなり資機材が充実しており、また市職員のスタッフの方もやる気があり気持ちよく有意義な訓練であったと思います。
ある程度備蓄の状況などは県から公表もされているので見れますが、実際の物が見れたり、ファーストアクションボックスのような取り組みを見れたことは非常に勉強になりました。
- 実際はこんなスムーズにいかないんだろうなあと思った。

【訓練について】

- 進行説明の拡声器の言葉が聞き取りにくかった。もう少しゆっくりとしゃべるべきかと。アリーナで反響音が干渉してましたね。
- 職員さんの説明はあったが、周りも喋っているため、何を言ってるか が聞き取れなく、何処にいけば良いのか？何をすれば良いのか？が、わからなかった。
- 流れ作業的な感じで質問しにくく、分からなくてもその場で聞けなかった。

- 停電、断水状態なのに、手洗いの洗面台の水を止めていなかった事が、中途半端だと思います。
- 自治体のスタッフも多かったのでお手伝いの機会が少なくちょっと物足りなかったです。
- 参加型のイベントには積極的に参加する家族ですが、また同じようにあれば参加したいと思う。でも実際に被災したときは優先順位としては後になる。優先順位が高い人が、1 人でも試してどういうものかを知っておくべき。子どもたちも学校でも教わるべき。避難所は皆で協力すべきだから、子どもができること、子どもも 1 人として考えをもってほしいと思った。
- 避難所運営をもっと参加者にしてもらう方が良いと思いました。
- もっとたくさんの市民さんに参加したり、経験してもらえたら市の職員さんの負担は下がり、心強い市になるのではないかなと思う。
- 今後も数年単位で企画して欲しいと思います。
運営側にも回りたかったです。(市民が運営して評価、指摘してもらう)
- 改善点としては全体的に運営側がほとんどやってくれていたため、手持ち無沙汰であった。
もう少し、参加型の訓練があってもよかったと思う。
- 市職員の人数が多くてどうしても頼ってしまっているところがあったので、実際の災害時の職員数で実践してみたかった。
- 朝食の準備(お湯沸かすとか)も参加者に主体的に行ってもらってもいいかなと思いました。
- できれば当日スタッフ役も避難者から割り振った方が実際に近くて良いと思いました。
- 今回は初めての避難所宿泊訓練ということで、職員やボランティアの人任せでしたが、今後は市民にも役割をふり、より実際の状態に近い訓練があれば良いと思いました。
- 今後各自治会からもボランティアを募ってはどうか？
- 災害が起これば地域で対応しなければならないのでより多くの方に参加して貰った方が良いと思います。
- スタッフの方々が親切で至れり尽くせりで有り難かったのですが、参加者もお手伝いや全体の為の作業をするタイミングを増やしたらいいと思いました。
- 運営、準備、の大変さはおそらく想像を越えると思いますが継続して、より多くの市民に貴重な経験を積ませて欲しい。
- 避難所にあれだけの設備があるのか疑問
体育館は階段ばかり。スロープあれば移動が楽になる。グループの中に杖の方がおられて大変でした。車椅子対応は無理ですね。
- 地域活動でどこまで取り入れられるかが今後の課題。
今回は、いろいろとありがとうございました。
お疲れさまでした。
- 設備的に、会場が小中学校の体育館とは全く違い恵まれた環境であったので、より身近な場所で引き続き訓練を実施していただけたらと思います。
- 今回の訓練では、防災に対して意識の高い参加者だったこともあり円滑に進む状況でしたが、当市に当てはめて考えると、かなり困難な状況になるのではと想像しました。また地域住民に対して、改めて共助の大切さを周知・理解していただく必要があると感じています。
- 私たちで運営しないといけないと思うと、やっぱりやってもらえるという考えがあるので、その認

識を広めていくべきだと思う。

- 今回の訓練がとても有意義だと感じたので、人員や準備の関係で実現は難しいかもしれませんが、可能であれば全職員が一度は体験できるよう、年1回の開催で、新規採用職員研修の一環で活用するのも効果的であるように思います(囑託も含めて新たに採用された職員全員を対象)。
顔の見える関係性の大切さを可視化できていると思いました。特に普段から顔の見える関係性が築けている職員同士においては、連携プレーや協力姿勢が柔軟でとてもスムーズでした。
- こちらで判断することが難しいこともあり、危機管理課の方を探して市民を待たせる場面もありました。その辺りが今後に生かされていけばいいかと思います。
- 連絡手段が欠如しているように感じたので、改善の余地あり(各班長にトランシーバー等)。また、資材配布(パーテーションや毛布など)も行き当たりばったり感があったので、マニュアル化の必要性を感じた。
- 今回は市職員の方が食料・物資班や衛生班など避難所運営担当を担われていたが、次回は市民も運営側で参画できるとさらに効果的な避難所運営訓練に繋がると感じた。
すごく恐縮で、色々なご意見があることは承知していますが、ダンボールベッドの作成・テントの設営について、参加者にしっかりと覚えていただくためにも照明を点灯しても良かったのではと思いました。
- 練習だったとしても、地区ごとに順番にご飯取りに行って、レクリエーションの終わりの時間が同じなのは、かなり厳しい。。
うちは、最後に並んでレクリエーションの時間がほとんどなく。。
訓練でも急いで急いでになるので事故がおきそうでこわかった。
- ぐるりは受付前の機械が故障していてもらえませんでした。